授業科目名・形態	人間関係論　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	西巻　丈児	実務経験の有無	無	開講期	２年後期
科目ナンバリング	C2-2011				

【授業の主題】

人と人との関係に基づいて、人間のふるまいや生活のさまざまな現象を見ていこうというアプローチが、人間関係論である。このアプローチは、以前から企業経営の戦略に取り入れられたり、看護の現場で実践されたりしてきている。こうした研究成果を踏まえて、他者とのさまざまな協同作業や合意形成と、自分が巻き込まれている人間関係を築いていくための態度や能力を身につけることができるようになる。

【到達目標】

・これまでの研究成果としての「人間関係論」を説明できる。
・人間関係のつながりについて説明できる。
・「自分とは何か」について考える視点を養うことができる。

【授業計画・内容】

第 01 回　イントロダクション　ー「人間関係論」とは何かー
第 02 回　人間関係が生ずる淵源
第 03 回　人間関係的管理アプローチ　ーホーソン実験から見えてくるものー
第 04 回　対人関係理論　ーペプロウ看護論から浮かび上がってくるものー
第 05 回　倫理学的研究アプローチについて
第 06 回　生き方の自己決定から見えてくる人間関係
第 07 回　死の自己決定権と家族関係
第 08 回　緩和医療の論理と家族関係
第 09 回　女性と子どもの権利と家族関係
第 10 回　脳死と臓器提供の問題と家族関係
第 11 回　死をめぐる家族との人間関係
第 12 回　自分のいのちは自分のものか
第 13 回　患者と医療従事者間の人間関係
第 14 回　人間関係のなかの自己と他者
第 15 回　本授業の総括

【授業実施方法】

前半は講義形式で実施し、後半では家族関係を軸にして、生死にまつわる問題から見えてくる人間関係を議論し、併せて医療の現場での人間関係についても議論していく。

【事前・事後学習】

予習：(毎回２時間以上)
授業の内容は連関しているので、配布する資料を復習しておき、前の回までの内容を自分なりに考えて授業に臨むようにすること。
復習：(毎回２時間以上)
配布する資料に参考文献を記載するので、復習する際にはそれも参考にすること。

【主な関連する科目】

哲学、心理学、社会学、文化人類学、コミュニケーション論、看護コミュニケーション

【教科書等】

特に指定はしない。ポータルサイトにて、事前に配布するプリントが教科書の代わりとなる。
また、パワーポイント、映像資料や文字資料も使用する。

【参考文献】

授業内で適宜指示する。

【成績評価方法】

毎回提出してもらうリアクションペーパーによる理解度（45%）、定期試験（55%）を総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

生まれた瞬間から否応なしに巻き込まれているさまざまな人間関係について、改めて見直してみましょう。自己の気づきを他者とのコミュニケーションに活用し、実際の場面に活用できるよう身につけて、社会人、そして医療従事者としての成長段階を、実感してみましょう。